

桃の節句

(3月3日)

おにぎりのおひな様



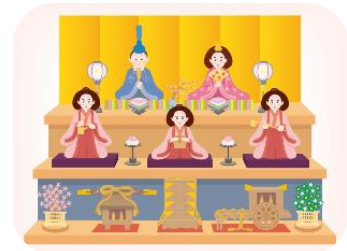
菱餅風
ヨーグルトゼリー



菱餅の色の意味

桃色(赤)…邪気祓い
白…子孫繁栄、長寿、純潔
緑…健やかな成長

どの色にも健やかに育ってほしいという願いが込められています。



ひなずし

すし飯を三角にぎりにして、海苔とうす焼き卵の着物を着せ、ゆでたうずらの卵に黒ゴマの目・にんじんの口・海苔の冠と髪をつけ、着物の合わせのところにきゅうりの笏とにんじんの扇をつまようじで留める。

はまぐりのお吸い物



山菜の天ぷら



たらの芽
ふきのとう
ごごみ

春のお彼岸

(春分の日と前後3日の7日間)

ぼた餅は、春に咲く牡丹の花に見立てています。あんこに使う小豆の赤色には邪気を祓う力があるといわれており、お彼岸にご先祖にお供えする風習があります。

ぼた餅



春の山菜



たら
の芽
天ぷらやお浸し、あえ物
などにします。



ふきのとう
生のまま刻んで練りみそ
にしたり、みそ汁の実や天
ぷらにします。



こごみ
天ぷらや、ゴマ、クルミま
たはマヨネーズであえ物にし
ます。



よめ菜
野菊の名で知られています。
春先の新芽や花のつぼみは天ぷ
らがおいしい。また葉を刻んで
よめ菜ごはんにします。



つくし
ゆでてアク抜きをして
から煮物やあえ物、お浸
しにします。



のびる
生のままみそを添えると酒の
肴に向きます。またゆでてお浸
しや、あえ物にもします。

よめ菜ごはん



つくしとよめ菜の卵とじ



のびるの酢みそあえ



お花見

三色だんご



三色だんごの色は、ピンクが桜の咲く春を、白は雪の降る冬を、緑は葉が生い茂る夏を表しています。秋がありませんが「(食べ) 飽きない」という意味だそうです。

桜餅



花見弁当



変わりいなり

カニのツメフライ

野菜の酢炒め

等

花まつり

花まつり・灌仏会 (かんぶつえ) は、お釈迦様の誕生を祝う仏教行事で、花で飾られた小さなお堂に安置された誕生仏に甘茶を注いで仏を供養し、子供たちの健康を祈ります。

一般的にお釈迦様の生誕の日とされる4月8日に行われます。



端午の節句

(5月5日)



端午の節句とは五節句のうちの1つです。端午の端という字は「はじめ・最初」という意味があり、旧暦で午の月は5月のことで、5月最初の午の日が端午の節句です。端午の午が五の音と同じであるため、やがて5月5日が端午の節句といわれるようになりました。

西谷地区のちまき



西谷地区では、全国的にもきわめて稀なナラガシワとヨシの2種類の植物で包むちまきが作られており、令和2年には宝塚市無形民俗文化財にも指定されました。

柏餅



こどもの日のワンプレート



八十八夜



立春の日から88日目であることから、「八十八夜」と呼ばれ、通常は5月2日（閏年は1日）になります。

八十八夜に摘まれた新茶を飲むと、長生きをするとも言われています。